

冬ー1 インフルエンザにご注意！

1. 活動の目的

- ①インフルエンザに関する経験と知識を分け合う。
- ②インフルエンザの予防方法を知る。
- ③インフルエンザにかかったとき、電話連絡のし方を練習する。

2. 準備するもの（☆は教材ファイルにあるもの）

- ☆手の洗い方、うがいの方法プリント
- ☆インフルエンザの症状一覧表

3. 活動の手順

留：留意点 **参**：参考 **発**：発展的活動

活動1

〈ニュースコラム〉

難しい言葉の説明はしなくてよい。冬になるとインフルエンザの記事やニュースがよく出てくることを伝えればよい。

- ・図を見ながら、学習者が自分の言葉で説明できるかどうかを確認する。言い方がわからなければ教える。
- ・①～③は予防するためにすること（手を洗う、うがいをする、マスクをつける）、④～⑥は習慣的なこと（湿度を保つ、十分な睡眠をとる、バランスのとれた食事をとる）である。
- ・正しい手の洗い方、うがいの方法を実演する。

手洗い・うがい
プリント

留 お茶や紅茶、うがい薬を使うなど、いろいろなバリエーションも紹介できる。

活動2

症状一覧表

- ・インフルエンザの予防接種を受けたいとき、どの病院へ行けばいいか、必要な手続きと費用について話し合う。
- ・インフルエンザにかかった経験、かかった時の気持ちなどを話す。
- ・インフルエンザにかかったことのない学習者には、家族や知り合いの経験、かぜをひいた経験などについて聞く。まったく経験がない方に健康を保つ方法を聞く。
- ・インフルエンザの症状を紹介し、風邪との違いを話す。

活動3

- ・インフルエンザにかかったとき、病院に出席停止の期間をお医者さんに聞いて、答えを聞き取る練習を行う。
- ・ボランティアが医者役、学習者が患者役で練習する。

参 平熱、微熱、高熱の違いを話し、それぞれ何度と思うかを聞く。何度になったら熱だと思うか、普通の体温は何度ぐらいか、国によって基準が違うかもしれない。平熱を知らない人も多い。

活動4

- ・「バイト先に電話をかける場合」と、「学校に電話をかける場合」の練習をやるから、学習者に自身の状況に応じて、バイト先の担当者の名前や子どもの担任の名前を代入して練習する。
- ・日本語教室に欠席を伝える電話の話し方を練習する。